

3月3日、第51回 二松学舎大学附属柏高等学校卒業式が行われました。今年度は新型コロナウイルス感染症の対策により、時間を大幅に短縮しての卒業式となりましたが、暖かい日差しに包まれながら、卒業生を送り出すことができました。



1. 開式の言葉
2. 国歌斉唱(CD 演奏)
3. 校歌斉唱(CD 演奏)
4. 学事報告
5. 卒業証書・各賞状授与



6. 学校長式辞



式辞

保護者の皆様、ご子息・ご令嬢の卒業、誠におめでとうございます。心よりお慶び申し上げます。卒業生の皆さん、卒業おめでとう。

通常であれば、多くのご来賓のご臨席を賜り、高等学校第五一回卒業式を一同に挙行するところでありましたが、コロナ禍ゆえの対応、感染対策を講じての実施とさせていただくこととなりました。ご理解をいただければ幸いです。

本日、卒業式を迎えられることは、卒業生・保護者はもとより、我々教職員にとっても、この上もない喜びとするところであります。また、保護者の皆様、晴れがましい我が子の姿を目の当たりにされ、感慨もひとしおかと存じます。

さて、新型コロナウイルス感染症の世界的流行は、社会生活のみならず学校生活にも大きな影響を与えました。高校時代における一生の思い出となる、多くの学校行事や研修・部活動の大会などがことごとく中止・延期となりました。さぞや無念であったことと思います。しかし、そのような中でも自然は遅しく、寒さの厳しかった今年の冬を乗り越え、ようやく春の兆しを見せ始めました。三年前、皆さんの入学を満開で迎えた本校敷地内八八本の桜も、しっかりとした蕾を節々につけ、生命の息吹を感じさせています。その様子は力強く、まさに今日の佳き日を祝福しているかのようです。

ここで一八年前、皆さんの生まれたころの出来事を思い起こしてみましましょう。郵政事業庁が日本郵政公社に・小惑星探査機「はやぶさ」打ち上げ・六本木ヒルズがグランドオープン、またスポーツ芸能では、宮崎駿監督の「千と千尋の神隠し」が第七五回アカデミー賞長編アニメ映画賞を受賞・朝青龍が第六八代横綱に昇進、その年の流行語年間大賞として三つ、「毒まんじゅう」テツ&トモの「なんでだろう」「マニフェスト」が選ばれました。それから一八年、立派に成長した皆さんは、一人の大人として社会と関わり、責任を果たしていく時を迎えました。成人年齢は、四月から一八歳に引き下げられ、親の同意がなくてもクレジットカードが作成でき、契約内容を丁寧に確認するなど、大人としての責任が生じることを踏まえた行動が求められるようになります。今、コロナなど大変な時期に大人の仲間入りをすることになりますが、後ろ向きに考えるだけでは展望は開けません。未来を切り開いていくことができるのもまた、若さの特権と前向きに考えてもらいたいと思います。

これから更なる学びの場へ旅立つ皆さん、論語にある【子、四つを以て教う。文、行、忠、信。】を大切にさせていただきたいと思います。『文』書物を読んで知識を得ること。『行』学問から得た知識を実践行動すること。『忠』ま心を尽くすこと。『信』約束ごとを守って、信頼を得ること。ぜひ教えを今後にかかしてください。

終わりにになりましたが、三年間にわたって卒業生を温かく見守り、本校の教育に多大なご支援を賜りました関係者の皆様、並びに本校父母の会・松柏会の皆様に厚く御礼申し上げます、あわせて今後とも変わらぬご厚情を賜りますようお願い申し上げますとともに、三六〇名の卒業生一人ひとりの限りない前途に幸多からんことを心より願い、式辞といたします。

二〇二二年三月三日

二松学舎大学附属柏中学校・高等学校

校 長 七五三 和男

7. 記念品目録紹介

8. 卒業生代表の言葉

◆卒業生代表生徒の言葉(要約)



高校生活は挑戦の連続でした。新型コロナウイルスの影響で、悔しい思いもありましたが、自分たちができる限りのことをしながら自問自答を繰り返しました。この挑戦は、51期生の仲間がいてくれたから乗り越えられました。学力だけではなく、人間力も育ててくれた二松学舎の思い出を胸に頑張っていきます。

9. 閉式の言葉

10. 卒業生退場

卒業生のみなさん。ご卒業おめでとうございます。

これからのみなさんの活躍に期待しています！

保護者の皆様、本校の教育へのご支援ご協力に心より御礼申し上げます。